



▲植樹の様子

11月16日(月)に掛斐川町谷汲名札の谷汲緑地公園内において、掛斐川町と岐阜県緑化推進委員会で、天皇陛下から国土緑化推進機構を通じ贈られたご下賜金を活用し、梓あざみの苗木の記念植樹を行いました。

陛下のご下賜金は、毎年、緑の募金として国土緑化推進機構へ贈られ、全国6地区へ分けられます。

中部地区においては9県の持ち回りで今年度は岐阜県へ配分されましたが、県緑化推進委員会から皇室3代で森づくりに関わりのある掛斐川町が選定され、富田前町長と岐阜県緑化推進委員会の黒崎専務理事で、陛下のお印の木である「梓」の苗木を植えました。

天皇陛下ご下賜金記念植樹
を行いました

※坂内川上地区は、原子力発電所から半径30キロメートル圏域で、国が定める「緊急時防護措置準備区域(UPL)」のエリアとなっています。



▲スクリーニング訓練の様子

11月21日(土)、福井県の関西電力(株)美浜原子力発電所での事故を想定した原子力防災訓練が坂内地域と健康広場、地域交流センターはなももなどで行われました。

訓練には坂内地域の住民、岐阜県、自衛隊、警察、消防、医療関係機関、町など約370人が参加し、屋内退避や、安定ヨウ素剤の配布・服用、一時移転の避難、スクリーニング訓練等を行いました。

今年度は、放射線防護施設として改修中の川上集会場で、建物内の気圧を高め、放射性物質の侵入を防ぐ陽圧化装置の稼働訓練も実施され、原子力防災に関係する機関と住民が一体となって訓練に取り組みました。

岐阜県原子力防災訓練複合災害
も想定した防災の取り組み



▲内田永男さんへ伝達

このたび、学校教育の振興に貢献された功績が認められ、内田永男さんが瑞宝双光章を受章され、富田前町長より伝達が行われました。

内田さんは、昭和30年4月に久瀬中学校の教諭として赴任され、掛斐川中学校、北和中学校など、郡内の小中学校に勤務されました。その後、坂内小学校の教頭、横蔵中学校の校長を務められ、平成5年3月に大和小学校で定年退職されました。退職後は、町社会福祉協議会の職員としてご活躍されました。

栄えある受章おめでとうございます。これからもお元気で過ごしてください。

瑞宝双光章を受章

友好都市

芽室町 だより

第31回めむろ氷灯夜!

芽室町では毎年2月の厳冬期に「めむろ氷灯夜(ひょうとうや)」というイベントを開催しています。

ナゴヤドーム約4個分の広さを誇る芽室公園に、5000個ものアイスキャンドル(氷で作ったキャンドル)が灯され、芽室町の冬景色を彩ります。

アイスキャンドルひとつひとつを実行委員やボランティアの方がマイナス10℃~20℃の中、2週間ほどかけて手作りをしています。氷を作り出す最適な気温はマイナス15℃といわれており、マイナスイメージの強い「冬」「雪」「寒さ」を「楽しむ」という逆転の発想で生まれたイベントです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントが中止となりましたが、感染症対策を十分に行いながら実行委員会が奮闘しています。

冬の寒さが厳しい芽室町ですが、雪上を照らすアイスキャンドルは心も体も温めてくれるでしょう。

